

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 長崎県五島市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : 極小規模小中併設校の特色を生かした生きる力の育成
4. 研究課題 :
- ①少人数であることを最大限に生かした教育活動に関する研究
    - ・地域の良さを生かした特色ある教育活動（伝統行事・創作活動・地域貢献等）を実施し、魅力ある学校づくりを实践する。
    - ・本市教育施策の一つである「小学校1年生からの英語教育」を、極少人数の小中併設校であるというメリットを生かし、故郷の特色を英語で発信できる実践的能力を身に付けさせる活動を実施する。
    - ・低学力や不登校といった課題を抱える留学生については、極少人数のメリットを生かした個別指導により課題解消を図る。
  - ②学校間ネットワークの構築
    - ・望ましい社会性発達のために、他校との交流活動や合同行事を定期的実施する。
    - ・一定の集団による練り合い、高め合いの経験を積ませるために、ICT機器を活用した遠隔授業を定期的実施する。
  - ③児童生徒数の増加や児童生徒集団の多様性確保
    - ・地元住民の協力を得て、しま親制度による「五島市しま留学生受入事業」を推進し、児童生徒数の増加を図る。そのことにより、児童生徒の固定化した人間関係に、留学生という新たな風を吹き込み、望ましい社会性を育成する。

### 5. 事業の実績

#### (1) 調査研究のねらい

二次離島にある学校は、地理的条件から学校統廃合ができない状況にあり、学級の複式科のみならず学年の在籍数が0名という学校もある。そこでは、一人一人に応じたきめ細かな学習指導等、極少人数のメリットを生かした教育活動が実践され、近隣校との交流学习や合同行事の開催によってデメリットを最小化する取組も行われている。

二次離島の学校が、地域活性の核となって存続していくため、平成28年度から「五島市しま留学生受入事業」を開始し、市外から児童生徒を受け入れる施策も進めている。

このような状況を踏まえ、キラリと光る特色を備えた地域に貢献できる学校とするために本研究に取り組み、小規模校のデメリットを最小化し、メリットを最大化する教育活動を実践する。

#### (2) 調査研究の実施状況（平成29年度）

4月	○五島市しま留学生受入事業 委託契約締結（6日） ・久賀島：5名 奈留島：4名
5月	○交流学习・合同行事・遠隔授業等の実施開始 ○第1回奈留しま留学連絡協議会開催（24日） ○第1回久賀しま留学連絡協議会開催（26日）
6月	○文部科学省との委託契約締結（6日） ○しま留学コーディネーター企画による留学生体験活動開始（6日～） ○第1回推進協議会開催（13日）
7月	○「しま留学・しま親」説明会（15日） ○久賀島「海祭り」参加（17日） ○五島市しま留学生受入事業 現地見学開始（～12月）
8月	

9月	○久賀島「島民運動会」参加（24日）
10月	○研究指定校訪問（17日 久賀小中学校） *5・6年英語科授業訪問（授業参観・指導助言） ○先進地視察【鹿児島県中種子町「たねがしま留学」・南種子町「宇宙留学」】 （24～26日 3名：奈留しま留学コーディネーター・しま親・事務局）
11月	○第2回久賀しま留学連絡協議会開催（2日） ○外部有識者による研究指定校等訪問 （27日 奈留島・久賀島：江頭明文氏 事務局同行）
12月	
1月	○五島市しま留学生受入事業 委託契約締結（9日）*3学期留学開始 ○第3回久賀しま留学連絡協議会開催（15日） ○奈留しま留学連絡協議会役員会（16日）
2月	○第14回 久賀小中学校学習発表会（1日） ○第2回奈留しま留学連絡協議会開催（6日） ○国立教育政策研究所 教育課程研究指定校 研究協議会 （8日 久賀小学校：松本教諭参加） ○第2回推進協議会開催（9日）
3月	○2年次研究成果のまとめ

## 6. 事業の成果

### (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p><b>【学校への研究指定（五島市立久賀小中学校）】</b></p> <p>①魅力ある学校づくり（地域の良さを生かした特色ある教育活動の創造）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活科・総合的な学習の時間「島の宝発見プロジェクト」では、GTによる講話や地域の方へのインタビューを実施し、地域の自然・歴史・文化について深く学ぶことができた。また、収集した情報をもとに「久賀島パンフレット」を作成して修学旅行時にPR活動を行ったり、学習発表会で島の良さを地域の人に伝えたりするなど、ふるさとを誇りに思う心を育むことができた。</li> </ul> <p>②小学校1年生からの英語教育（英語による情報発信力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校教員の専門性を生かした乗り入れ授業や毎週火曜日の「イングリッシュデー」の取組により、英語に親しむ児童生徒を育むことができた。学習発表会では、英語による「民話劇」や「久賀自慢」を披露することで、英語で発信することの喜びを感じることができた。</li> </ul> <p>③他校との交流学习・合同行事（極少数数では経験できないふれ合い活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流学习を、小学校では5回（小規模校：3回、英語科先進校：2回）、中学校で5回（小規模校：2回、大規模校：3回）実施した。複数の学校と交流を行うことで、多様な考えに触れたり、自分の考えを表現したりする機会ができ、学習意欲・表現力の向上につながった。</li> </ul> <p>④遠隔授業（情報の拡大、表現力向上、思考の拡大を図る授業の実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の整備や現職教育を計画的に行うことで、ねらいを明確にした遠隔授業を実践することができた。市内の小中学校（5校）だけではなく、アメリカ在住の元ALTとの交流も計画するなど、情報発信の楽しさを味わわせたり表現力の向上を図ったりすることができた。</li> </ul>
<p><b>【しま留学連絡協議会（コーディネーター）への研究委託】</b></p> <p>①留学生及びしま親との連絡調整・相談・支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しま親や留学生とは、体験活動等を通して情報収集ができ、それを支援活動に生かすことができた。</li> </ul> <p>②週休日や長期休業における留学生体験活動の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚釣りや筍掘りなど、島の自然を生かした体験活動を実施することができた。</li> </ul> <p>③留学希望者の現地見学に対する支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地見学が集中して慌ただしかったが、学校見学やしま親宅訪問など、限られた時間の中で「しま留学」のメリットを丁寧に伝えることができた。</li> </ul>

【教育委員会の施策】

①五島市しま留学生受入事業の推進・充実

- ・PR動画等を制作して「しま留学」のHPを充実させたり、ポスター・チラシを印刷配布したりするなど、事業の広報に積極的に取り組んだ。今年度は、24件の現地見学を実施し、留学申し込みが22件（継続：6件、新規：16件）あった。来年度の募集定員を10名としていたが、しま親・予算の確保ができ15名の留学生を受け入れる見込みである。

(2) 成果物等

- 研究指定校（五島市立久賀小中学校）研究報告
- 「総合的な学習の時間」に作成したパンフレット「こんね久賀島」
- 英語での自慢発信（DVD）
  - ・小学生：民話劇
  - ・中学生：久賀自慢スピーチ

(3) 今後の取組予定

\*今年度の成果と課題を踏まえ、「3年間の研究のまとめ（ゴール）」を意識した計画・実践

- 学校への研究指定
  - ・「久賀島らしい教育」を推進し、地域を知り、地域とつながり、地域に感謝する子どもを育成する。
  - ・「英語で自慢発信」のためのカリキュラムを提案し、英語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを育成する。
  - ・ねらいを明確にした交流学习・合同行事を計画・実践し、自信を持って表現できる子どもを育成する。
  - ・ICT機器を効果的に活用した遠隔授業を実践し、情報を取捨選択したり、的確に自分の考えを伝えたりすることができる子どもを育成する。
- しま留学連絡協議会への委託
  - ・留学生・しま親・実親との連携を深めながら、留学生の島での生活、自然体験活動を充実させる。
- 教育委員会施策
  - ・広報活動や現地見学を計画的に実施したり、しま留学連絡協議会と連携しながら「しま親」の確保等を進めたりしながら、次年度以降も15名以上の留学生を受け入れる。